

中2 「聞く生活」を考えよう 「目的に応じて聞く」

研究主題「確かな国語力を育むための国語教育の在り方」

－ 「話す・聞く能力」の基礎的な力を確実に身につけるための指導の工夫 －

日立市立泉丘中学校 小野 勝

1 はじめに

国内外の学力調査の結果から、我が国の児童生徒には「思考力・判断力・表現力等」に課題があることが分かった。児童生徒が主体的に学習に取り組みながら、それらの力を育むためには、各教科において言語活動の充実を図ることが大切である。国語科においては、「実生活で生きてはたらき、各教科等の学習の基本ともなる国語の能力を身につけること」が学習指導要領国語科改訂の趣旨にも述べられている。国語科は、各教科等において行われる言語活動が円滑に、効果的に展開するために必要な基礎的・基本的な言語に関する能力を育成する中核的な役割を担っている。

学力診断テストの結果によると、本校の生徒の正答率は県平均より高い。しかし、文章を書く場面において漢字等の語彙力が定着していないことが課題として挙げられている（課題1）。一方、各教科の授業では、グループでの話し合い活動で活発な意見の交換や内容の深まりが見られず、効果的な話し合い活動にならないこと（課題2）、実験・観察のまとめや図表から読み取ったことを自分の言葉で表現できないこと（課題3）が課題として挙げられている。以上のことから、自分の考えをまとめ、言語を使って他者に表現する「話す・聞く能力」の基礎的な力に課題があることが分かった。

これらの実態から、「話す・聞く能力」の基礎的な力を確実に身につけるための指導を工夫していく必要がある。具体的には、①課題について自分の考えをまとめ、発表するトレーニングの時間（丘トーク）を設け、継続して行うこと、②目的に応じて必要な情報を聞き取り、自分で判断し、選択する活動を活動を行うこと、③個別→ペア→小グループ→全体と学習形態を変え、自分の聞き取った内容を確認めたり、話し合ったりする活動を通して、的確に聞き取れているのかを客観的に確認できるような場を設定すること、の3点を考えた。これらの活動を通して、「話す・聞く能力」の基礎的な力を確実に身につける言語活動を充実させ、「思考力・判断力・表現力等」の力を高めていきたいと考え、本主題を設定した。

2 研究の仮説

話し合い活動において、次の手立てをとれば、「話す・聞く能力」の基礎的な力を確実に身につけることができるであろう。

手立て（1）課題について自分の考えをまとめ、発表するトレーニングの時間（丘トーク）を設け、継続して行う。

手立て（2）目的に応じて必要な情報を聞き取り、自分で判断し、選択する活動を行う。

手立て（3）個別→ペア→小グループ→全体と学習形態を変え、自分の聞き取った内容を確認めたり、話し合ったりする活動を通して、的確に聞き取れているのかを客観的に確認できるような場を設定する。

3 実践事例

（1）授業の実践

① 単元『「聞く生活」を考えよう～目的に応じて聞く～』

② 単元の目標

○自分たちの身近な「聞く生活」を振り返り、これからの生活に役立てる姿勢を身につけようとする。（国語への関心・意欲・態度）

○目的や状況に応じて必要な情報を取捨選択しながら聞き取ることができる。

(話すこと・聞くこと)

○必要な情報を的確に聞き取り,要点を捉えたメモや分かりやすい「お知らせ」を書くことができる。(書くこと)

○既習の語句や表現,漢字を話し合い活動や書く活動において的確に活用することができる。(伝統的な言語文化と国語に関する指導事項)

③ 単元について

本単元は,目的に応じて情報を取捨選択しながら聞き取ることで,必要な情報を的確に聞き取る方法を学ぶことができる教材である。本教材では,3つの場面設定をし,実際の「聞く」練習を通して学習ができるように構成されている。教材文の中には,目的や立場に沿わない情報も盛り込んであり,必要な情報を取捨選択するという体験ができるようになっている。そのため,「目的を意識する」とはどういうことかを実感し,具体的に学ぶことができると思う。

本学級の生徒は,素直で明るく,授業の課題に対しても意欲的に取り組むことができる。しかし一方で,特定の生徒を除いては,挙手して発表することや人前で自分の意見を述べることに消極的で,意見を求めても言葉に詰まってしまうたり,グループ内での話し合い活動が盛り上がらなかったりすることが多い。これは,失敗への不安や,不慣れで話し方が十分身についていないことに起因していると考えられる。聞くことについては,大半の生徒が「できる・好き」と回答し,テストでも相応の結果を得ているが,実の場で活用できているとは言い難い現状がある。

状況に応じたメモの取り方の具体的な方法についてもしっかりと身につけるために「5W1H」を意識してメモを取らせたい。さらに,メモの必要性に気づかせるため,あえて訂正や付け足しの多い,分かりにくい文を用意する。また,教材についても生徒の興味・関心や必要性を高めるため,「職場体験のお知らせ」を作ること課題とした。こうして得た情報をもとに話し合い活動や書く活動をする中で,既習の語句や表現,漢字を的確に活用し,効果的に表現することについても意識させていきたい。この単元を通して,メモしながら聞き,情報を取捨選択して「お知らせ」を作ることを通して,要点を捉える力を伸ばしていきたい。

④ テーマに迫るための具体的な手だて

本単元では,目的に応じて必要な情報を聞き取り,自分で判断し,選択していくことを学習の中心に据えることにより,実際の生活の場でも生きる「聞く力」を伸ばしていきたいと考える。そのために個別→ペア→小グループ→全体と学習形態を変え,自分の聞き取った内容を確認めたり,話し合ったりする活動を通して,的確に聞

○国語についてのアンケート(男子17名,女子22名,計39名)平成23年5月14日調べ

〔1よくあてはまる・2どちらかといえばあてはまる・3どちらかといえばあてはまらない・4あてはまらない〕

【話すこと・聞くこと】

・自分の考えを相手に分かりやすく発表することは得意ですか。〔1…4人, 2…10人, 3…20人, 4…5人〕

・いろいろな友達の意見や感想を聞くのは好きですか。〔1…13人, 2…20人, 3…4人, 4…2人〕

・学校放送やラジオの情報を正確に聞き取ることはできますか。〔1…7人, 2…27人, 3…5人, 4…0人〕

き取れているのかを客観的に確認できるようにした。また,メモの必要性を実感できるよう,あえて訂正や付け足しの文を用意し,それを聞き取る活動を設定した。

さらに,話すことへの抵抗感を減らしたり,友達の発表を参考に良い話し方の例を学んだりすることができるように「お知らせ」の作成を小グループによって行なうこととした。

⑤ 指導と評価の計画（3時間取り扱い）

次	時	主な学習活動	評価規準	評価計画				
				関	話	書	読	言
1	1 (本時)	・メモを取りながら情報を聞き取る。 ・グループで話し合い「お知らせ」を作る。	・メモを取りながら必要な情報を聞き取ることができる。 ・必要な情報を取捨選択し、お知らせを作ることができる。	○	◎	○	○	○
	2	・A・Bに分かれて情報を聞き取る。(立場を変えて情報を聞き取る。) ・二つのメモを比較する。	・A・Bの立場から必要な情報を聞き取ることができる。 ・立場の違いによる情報の違いを理解している。	○	○	◎	○	○
	3	・「内田さんの話」を聞きメモを取る。 ・聞き取った図やメモを友達と見せ合い、情報を確認する。	・メモや図などを工夫して情報を聞き取れている。 ・友達の図と比較しながら話し合い、情報を正確に反映した「案内図」が書けている。	○	◎	○	○	○

⑥ 本時の学習

ア 目標

- ・目的に応じてメモを取りながら話を聞き、「聞き取りメモ」をもとに情報を取捨選択することができる。

イ 準備・資料

- ・短冊（白、ピンク、黄、青、黄緑）・「お知らせ」台紙・丘トーク用原稿用紙・サインペン
- ・「聞き取りメモ」ワークシート（個別用）・評価カード

ウ 本時の視点

- ・「職場体験のお知らせ」を作るために、グループで話し合いながら情報を的確に取捨選択できていたか。

エ 展開

☐は言語活動の充実を図るための手だて◆はC評価の生徒への支援◇はA評価の生徒への支援◎は評価

学習活動・内容	支援・指導上の留意点
1 <u>丘トーク</u>を行う。(手立て1) (1) 提示されたテーマについて考える。 (2) 自分の意見を作文にまとめて書く。 丘トークについての詳細は、実践事例3(2)丘トークを参照 2 本時の学習課題をつかむ。 「職場体験のお知らせ」を作るために、必要な情報を的確に聞き取ろう。 3 メモを取りながら必要な情報を聞き取る。 (1) 「状況」の説明を聞き、目的を把	・「文は常体・敬体」「知っている言葉や習った漢字をなるべく使って書く」などの指示をし、本校の課題の解決につなげる。 ・段落の意識や原稿用紙の使い方について個別に指導する。 ◆なかなか書き出せない生徒には、テーマについて個別に質問し、自分の意見を出しやすくする。 ☐机間指導を行い、話し合いが進まないグループには友達に質問したり、友達の意見を聞いた感想を述べたりするよう助言する。 ・「状況」を説明し、「学年に提示する『職場体験のお知らせ』を作る」という目的を知らせ、話を聞く際の観点についての意識づけを図る。 ☐相手……学年のみんな☐目的……職場体験のお知らせを作る

握する。	・メモを取る視点を確認し,工夫して聞き取りメモを取るように助言する。
(2) ノートに メモの準備をし,教師の話聞く。	◆メモを取ることが難しそうな生徒には,「5W1H」の見出しが入った「聞き取りメモ」のワークシートを用意して,もう一度まとめるよう助言する。
(3) 「聞き取りメモ」の情報を整理する。 ・個人で情報を整理する。 (手立て2) ・隣の人とメモを見合って意見交換する。 (手立て3)	◎「聞き取りメモ」の情報を取捨選択し,「お知らせ」に必要な情報を整理することができたか。 (行動観察・ワークシート) ◆情報が整理できない生徒には,必要な情報を項目立てたワークシートを与え,取捨選択できるようにする。 ◇情報の取捨選択が終わった生徒には,自分で「お知らせ」のレイアウトを考えさせ,次の活動への意識を高める。 ・活動前に本時の学習課題を再確認し,必要な情報が選択された分かりやすい「職場体験のお知らせ」を作るよう意識して取り組むようにする。
4 「聞き取りメモ」をもとにグループで情報を取捨選択し,「職場体験のお知らせ」を作る。 (手立て3)	・全員が話し合いに参加できるように1グループ4人とする。 ・誰の意見が用いられたかが一目で分かるように,意見が採用されたときは,各生徒色の短冊を使ってお知らせ事項を記入し,貼る。 ☞ 司会者は立てず,活発な意見の交換が図れるようにする。 また,自分の考えを発表するときは,できるだけその理由を述べるよう指示し,根拠を明確にした話し合いができるようにする。 ・読み手(情報の受け手)を意識した項目の順序やレイアウトになっているか,机間指導をしながら助言する。
5 出来上がった「職場体験のお知らせ」を発表する	○必要な情報を漏らさず,既習の知識を活用して書くことができたか。(行動観察・作品)
6 本時を振り返り,評価カードに記入する。	・発表の際,「職場体験のお知らせ」を作るときに気をつけたことを言い添えるよう助言する。
7 次時の活動内容を知る。	・次時は,立場を変えて情報を聞き取ることを確認する。

(2) 丘トーク

丘トークとは,課題について自分の考えをまとめ,簡単な文章に書いて発表するトレーニングの活動であり,話し合い活動を円滑に行うためのスキルの定着を目的としている。毎回,話し合いのテーマを提示し,それについて自分の意見と理由を100字程度で書き,グループで発表しながらフリートークを行う。

お題については,生徒の興味を惹く話題から学習内容に関連したこと,時事問題,資料から読み取ったことなど様々である。

- ① 丘トークの原稿を書く。
- ② 原稿を基に，グループで発表する。
- ③ 発表して気づいたことを全体に発表する。

構想メモ		た	し	ま	か	や	人	人	し	る		お題
☆ 。大人にしほられてる気がするから。	大人のほうがいい。	。	な	り	も	大	人	に	で	な	理	私
		い	む	し	れ	人	る	し	テ	コ	由	ほ
		か	し	れ	ほ	の	ほ	な	い	ほ	太	
		な	ほ	な	仁	で	ら	コ	と	子	人	
		と	ら	い	事	り	れ	い	か	係	が	
		思	れ	け	と	か	で	と	と	だ	い	
		い	た	ど	外	に	い	か	外	と	い	
		ま	気	子	雨	す	る		で	勉	で	
	ま	か	係	例		大	遊	遊	遊	す		

丘トク原稿のきまり

* 段落冒には「お題」に対する自分の意見を書くこと。

* 第二段落目には、その根拠（理由）を書くこと。

* 文末は常体（～だ、～である）
敬体（～です・ます）のどちらかに統一すること。

* 構想メモは内容を簡潔書きで書くこと。

丘トクのきまり

* グループ内全員が一回は自分の意見を主張すること。

* 反達の意見で気になったことは積極的に質問すること。

* 「同じで」とは禁句。
自分の言葉で話そう。

[illegible]

○身近なテーマ

- ・無人島に1つだけ持っていくなら何？
 - ・男と女、どっちがいい？
 - ・最強キャラクターはだれ？
- 学習内容に関連したテーマ
- 最近流行していること（「文化を伝えるチンパンジー」）
- 好きな短歌はどれ？（「短歌を味わう」）
- 「父親」ってどんな人？（「盆土産」）
- 「あ、射たり」「情けなし」あなたならどっち？（「扇の的」）
- 時事問題・資料から読み取ったことに関するテーマ
- 世界の人口の推移（社会科）
- 裁判員制度に賛成か？反対か？（時事問題）
- 原子力発電所は本当に必要か？（時事問題）

(1) 事前・事後アンケートの結果

【1 よくあてはまる 2 どちらかといえばあてはまる 3 どちらかといえばあてはまらない 4 あてはまらない】の平均値

NO	質 問 項 目	第1学年			第2学年			第3学年		
		5月	11月		5月	11月		5月	11月	
1①	国語 (の授業) は好きですか。	1.73	1.15	-0.58	1.82	1.61	-0.21	1.89	1.32	-0.57
1⑥	人前で発表することは好きですか。	2.62	2.12	-0.5	2.92	2.47	-0.45	2.97	2.13	-0.84
1⑦	いろいろな友達の意見や感想を聞くことは好きですか。	1.93	1.38	-0.55	1.87	1.58	-0.29	1.92	1.45	-0.47
1⑨	グループで話し合いをし、友達と意見を出し合うことは好きですか。	2.21	1.53	-0.68	1.85	1.71	-0.14	2.61	2.00	-0.61
2⑤	人前で大きな声で発表することはできますか。	2.06	1.62	-0.44	2.28	1.89	-0.39	2.00	1.61	-0.39
2⑥	自分の考えていることを相手に分かりやすく説明することは好きですか。	2.46	2.00	-0.46	2.36	2.00	-0.36	2.29	2.03	-0.26
2⑦	人前で自分の考えや意見を発表することは好きですか。	2.39	1.82	-0.57	2.38	2.29	-0.09	2.50	1.95	-0.55
3③	学校放送やラジオの情報を正確に聞き取ることはできますか。	2.23	1.62	-0.61	1.95	1.66	-0.29	1.53	1.45	-0.08
3④	話の要点をメモを取りながら聞くことはできますか。	1.82	1.44	-0.38	1.87	1.76	-0.11	1.92	1.58	-0.34

(2) 研究の考察

①事前・事後アンケートの結果から

全学年とも「話すこと・聞くこと」の項目において、前回よりも平均の数値がよくなっている。前回1⑥の項目では2・3年生を中心に数値が高く、発表に対する抵抗感をもつ生徒が多くいたが2年生で0.45、3年生では0.84も平均値が下がっている。また、1⑨や2⑥、2⑦の項目においても数値がよくなっており、手立て(1)の丘トークや手立て(3)個別→ペア→小グループ→全体と学習形態を変え、自分の聞き取った内容を確認したり、話し合ったりする活動を行なってきたことで人前で話すことに対する抵抗感が少しずつ解消されてきたと推測される。

②丘トークから（生徒 A のワークシート）

[illegible]

(5月のワークシート)

構想メモ	お題	原子力発電所は必要か？	ぼくは、原子力発電所は必要ないと思います。	す	理由は、大地しんが起生て、大事故があ	る。と大変だからです。	その代りに太陽エネルギー	ギーや風力などの自然エネルギー	工ネルギーを初率良く使えよう。な施設を作れ	ばいいと思います。	太陽・風・石油 かす、水
------	----	-------------	-----------------------	---	--------------------	-------------	--------------	-----------------	-----------------------	-----------	-----------------

(11月のワークシート)

生徒 A のワークシートを見ると、5月の時点では50字程度しか書けていない。また、構想メモも活用できていないことは分かる。しかし、11月には、100字以上も書けている上に、構想メモの活用もできるようになっている。

このことは、課題について自分の考えをまとめ、発表するトレーニングを継続して行ってきたで、意見や考えを論理的に構成し、文章にする力が身についてきたと言える。

③授業観察から

説明文や物語文の授業においてもペアや小集団での意見交流を行なったり、文法の授業でグループ活動を行なったりしてきた。生徒の様子を観察してみると、これまで話し合い活動に消極的だった生徒が、小集団で自分の考えを話したり、友達の意見を熱心に聞いたりする場面が多く見られるようになった。

また、他教科の授業においても、「グループでの話し合い活動で意欲的に意見交換する姿が見られるようになってきた。」（課題2について）や「以前より、実験・観察のまとめを自分の言葉で書こうとしている。」（課題3について）とを感じる場面が増えてきているという意見が聞かれた。

5 研究のまとめ

手立て（１）課題について自分の考えをまとめ、発表するトレーニングの時間（丘トーク）を設け、継続して行う。

手立て(2) 目的に応じて必要な情報を聞き取り、自分で判断し、選択する活動を行う。

手立て（３）個別→ペア→小グループ→全体と学習形態を変え、自分の聞き取って内容を確かめたり、話し合ったりする活動を通して、的確に聞き取れているのかを客観的に確認できるような場を設定する。

上記の手立て（１）から（３）を実践することにより、「話す・聞く能力」の基礎的な力が高まったと推測される。

6 今後の課題

- ・課題1（文章を書く場面において漢字等の語彙力が定着していないこと）については課題が残る。各教科の授業に国語辞典を活用させて取り組ませたり、読書活動の一層の充実を図ることが考えられる。
- ・丘トークについては、「学習時間の確保」という面から課題が残る。いつ、どのようなテーマを、何の時間に行なうか、をしっかりと計画を立てて行って行きたい。
- ・「話す・聞く」ことについて意欲的な面で高まりが見られたので、今後はそれが技能面や能力面において目に見える力となってつけられるように系統的に指導していきたい。
- ・学校の教育全体を通して望ましい人間関係づくりを行なうことで、話し合い活動が円滑にできる雰囲気づくりを行う。

資料 （授業風景）

